ST VINTAGE / OLDIES

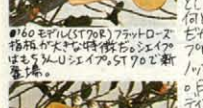
不滅の名作として君臨し続けるSTシリーズ、新たな衝撃を秘めて……。

●'54モデル(ST50,100,120)スモールヘッドストック、クルーソンタイプペグ&丸型ストリングガイド、Vシェイプネックがすべてにパーフェクト。

●'58モデル(ST60,80)一見'54年モデルと見まがうがうりもしかねないがしシェイプネックと平行2ウェイベストリング"ガイドが特徴。

●'60モデル(ST90モ)フラットローズ指板やボキやな特徴をもつシェイプはもちろんUシェイプ。ST 70など新登場。

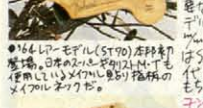
●'64モデル(ST50R,60R,80R,100,120)アールローズ指板とラミネイトしたネックのST BORを除くすべてのモデルがUシェイプ。



●'66レアモデル(ST70)本邦未入荷。日本のスーパーギタリストM・Tモも使用していたメイプル貼り指板のメイプルネックだ。

●面とりもオールドモデルをパーフェクトにレプリカ。微妙に変化し続けたSTシリーズモデルをトータルで感じて欲しいてほしい。

●ポジションマークの開きぐあまで何とフロイカ。左が'64ST、右が'60ST。何てもスゴイ、シューネン。



●ボディはアルダー材を全面採用。このシブい色あいはアルダーボディならではの証。サウンドはもちろんヴィンテイジ&モダーン。

●ネック/'82ニュースペックよりSTシリーズの時代別ネック構成がもパーフェクト・トラディショナルモデルが'着重時代'を経もセレストリカル5タイプのネックバリエーションに注目してほしい。ここでオールドモデルをフォローでおのモデリングモデルがヴィンテイジ。左頁でもわかるようにその年代を象徴する顔といえる年度に基づかれているものだ。①'54年モデル:メイプル1ピースネックのオリジナルがこのフォルム。2モールヘッドストックの面とりまで含めパーフェクトレプリカしている。のおいうまでもない。オールドタイプの、ブラウンポイントそして立型ストリングガイドが'54年モデルの特長だ。ネックのシェイプは"Vシェイプ"。②'58年モデル:メイプル1ピースネックで"先の'54年モデルと一見と同の音をしないように"みえる。が、ヘッドストックの面とり、特に後 横からみると全然ちがうことで、ストリングガイドも丸型から平行2ウェイタイプに変わっていることに気づけば、君はもうビンテイジギター博士だ。そして最大の特長はネックシェイプが"Uシェイプ"。クラプトンのブラッキーなどこれに該当する。③'60年モデル:いよいよローズ指板ネックの登場。室際には'59年後半よりメイプルトップ1ピースネックにかわりすべてのローズ指板ラミネイトのメイプルネックに変わりました。ローズ指板の貼りもフラットローズ指板が'62年位まで、そして その後アール指板に変更されるという記述。ネックシェイプはもちろんUシェイプ。シアイエ ~。④'64年モデル:そしてトーカイの超目玉、世界的にも非常にレアーなモデルとしてますます人気があがっているメイプル貼り指板ネック。何といっても'60年代が"ローズ"指板は珍しかっていのだがらメイプル張り指板のスペシャルオーダーによって、リプロダクツされた、ありうるネック。ダイアストレイツのマーク・ノップラー、そして元ナンシズヘン等、熱烈な愛用者もタイ。日本のスーパーギタリスト、M・Tモもこのネックにサンバースバーストで"すばらしいサウンドを聞かせてくれている。もうひとつのヘッドストックのロゴマークは変と消えてしまっていますが……M・Tモが"語ってて彼の名前がすぐかぶんようにはギターフリークとはいえないネ!BP勉強しなさい。⑤'64年モデル:最終的にトラディショナルモデルの最終の完成と飾ることになったのが'この'64年モデル。ローズアール指板をメイプルネックにラミネイトしたものこ"このあたりから特筆的な精度もグンと上がった感を示している。全5タイプ、オールドクルソンタイプのペグと相まって、今のフィーリングはオールドモデルではければ"味わえないものだ。アンスタイック!プレイト!まさにスーパーネックぜんぁ。●ポジションマーク/ここまできたらポジションマークにも注目してほしい。6・5・0の黒と白のドットポジションがこれまた年代別によるネック構成で重要なファクターとなっている。12Fの同様も'59年、'60年モデルが"29.5"mm、それ以外の'64年モデル等は22.4"mmと狭くなっているとても年代の違いはわかる。トーカイではST シリーズのみならず'SS,TE,PB,JBシリーズも全て年代別にきょり正確なポジションマークがつけられている。もちろんサイドポジションもパーフェクトコピーだ。●フレッシング/フレットはエボもちろんメイプルトップ1ピースネックおよび'64ローズ指板ラミネイト・メイプルネック共に完璧だ。またフレットが"すきこまれるミゾ"はフレットの足(タング)の幅が入る深さにあわせて「本」本切られており、ハードなプレイにもガッ、ケリとたえることはもちろん、ネックの剛性、音の伝達性がー段と向上した。トーカイSTシリーズ"などこの細かい配慮だ。●ロゴマーク/トーカイスプリングのヘッドのロゴマークはデカール方式が塗装まくの上にはりけれあるはがりつけ方法も時代によってトーカイ(秘)技術で、時代が経つほどに"エボール"と同じ"味わい"が"発揮される。写真のある塗立体に黒ブチのロゴマークとオールドクロームシルバードの"技術のペグヘッドフィーリング"はまさにオールドモデルの味レングが。●ボディ/今ではすっかり有名になってしまったNCルッター"がの再価を最大限に発揮している。それまでのボディカロエには考えられなかったトーカイ"セカンドC的製法のひとつだ。立体までをもくまなくカロエし、正確無比を誇る"3次元ルーター"そして長いボタづくりによってプラクルれた'クラトンの技術、製作経験者がつぶさ"のは、そう完璧といっていいほど。特に'ボタ4ヤプルネックの'面取り'こそ加えて加えていたネックシェイト部はまだ"らしい仕上がりをみせる。またにセットネックに備えても深らない完成度だ。また'ヒットした他のオールド"コピー"モデルとよく比較してもいたい。その違いがはっきりとわかるはずだ。そして特筆すべきはついにトラディショナルモデルの代表的ボディ材、アルダーを全面的に採用。オールドモデルはサウンドの再現にたくく妥協してはいることはもちろんもちろんオールドギターマニア理想のマテリアルだ"。たいへんたんかエッティングされたオフセットシェイプのヴエストカットボディはもちろん、ピックアップ。およびコントローラー各部の穴加工もパーフェクトに再現している。●ペグ/オールドモデルをパーフェクトにコピーするいばらんだ事なとうは本当はこのペグに点しのかもしれない。それほどペグの与える'サウンドへの影響'そして'フィーリング'はたない。すべてにオールドモデルを反映にコピーするポリシーがここでうまぬかれ見事なできばえと見せている。本家本元のクルーソンペグを徹底分析・研究開発した成果が見事な結晶となってトーカイルーソンタイプペグを完成させた。着かたちはなく同一ながら高い性能と2年ぞ"ガタつきもなく高精度のペグとしてホンモノよりもいい感じのフロクミュージシャンより高い評価を得たプロジェクトチームの自信作。オールドギターフリークにはもちろん最高のプレゼントとなった。●ピックアップ/「かし」何と言っても ヴィンテイジオールドモデルサウンドをよみがえらせる最大の武器は先に述べたパーフェクトボディ&ネック、そして可能性を最大限にいきだすピックアップだ。あるオリジナルを極めた果にオールド"モデル サウンドを追求し完成させたSTシリーズのピックアップのタイプ——<STヴィンテイジ><STヴィンテイジMK II><STホット>のパーフェクトなハードウエアとダブーサイクルなピックアップとのベストマッチングはまさにサウンドはまさに未だ無着。今なのプロダクリスナが絶賛するオールドモデルサウンドをほぼだしているそしていつに<STヴィンテイジ><STヴィンテイジMk II>にはオリジナルと同じ糸編みひかくく線を採用、細部までのこうした配慮もパーフェクトレプリカをめざすトーカイにとってはあたりまえのことだ。●ピックガードハウル/ピックガードにはでセンセーションをまきおこしオーカム。'60年代の'象徴、セルロイドが"ついに採用されました。(STその以上のローズ指板モデル)。経時変化による微妙な'変色の味わい、茶子の縞み等がオールドファイルたちを'驚喜させます。(ピックガードが"縮んでまったくついてないモデル"は不良品ではありません。)'50年代のホワイトプラスイト塩とも あみせ全3タイプ。モデル別に構成されています。アジャスト部のエポリはもちろんすべてにオリジナルセッサードとパーフェクトにコピー。細かいこだわりが"オールドフィーリングをもりたてトラディショナルモデルを盛かす。●トレモロユニット/'82ニュースペックよりついにパーフェクトレプリカとなったトレモロユニット・オリジナルと同じセパレートタイプ。メッキコンビネーションモールピースを始めがクロームメッキ、プロスプリング"ニッケル、そしてレモロブロック各部が"重塗メッキというオリジナルモデルをパーフェクトにコピー。さらにセパレートタイプによるガタツキを防止するための"対策も導入。プロスブリッジに刻印された"ファイルスペック"のあとのよりマテリアル、ディテイルすべて完璧に再現している。●ピックアップセレクタースイッチ/新開発3段5ポジションセレクタースイッチ。軸の形状に注意してほしい。現在のCBCタイプとはまた一味ちがったオールドタイプ ドンズンの軸形状を再現。一そしてそれに あわせてスイッチツマミもトーカイ"はじめて登場させた。そしてスイッチの性能はというとこれが世界的なレス下さんしの技術開発によって生まれたスグレモノ。スイッチ切りかえ時のグリ音で接触・トラブルもこれでバッチリ解消だ。●コントロールサーキット/ニッはオールドモデルサウンドをフォローするのにかかせないセクションだけに外部からは見えないが"回路"は本のプラスシールドプレートを採用。長期にわたって安定したシールド効果を発揮する。また、コンデンサーもオリジナルと同じセラミックコンデンサーを採用、オールドサウンドを完璧に再現するコントロールサーキットを構成している。●ビス/STシリーズに使用されているビスはすべてオールドタイプ。ST各モデルのトータルフィーリングはビス頭の形状にもあり、という徹底した製作ポリシーだ。特にピックアップ止めビス、スイッチ止めビスはオールドと全く同じ大きさ、形状、強度をもち、まったくいたれりつくせりここまでやってしまったのはもちろんトーカイだけ。●ハードウエアのメッキ/パーフェクトレプリカのキングをめざすにはメッキまでも細かい配慮が要求される。STシリーズの全面パーツには1号メッキが施されている。普通は2号メッキとして5~10ミクロンくらいのものだが"これでは不十分。1号メッキは高級装飾品。ヴインテイにはメッキに見られない。深いあじわいがあり、強度・耐久力も抜群だ"(ST80・85N)。●カラー/カラーは白・ベス・ベ・OW・BL・BB・N・そして新たに加えたMR(メタリックレッド)MB(メタリックブルー)EO(クラシカルオレンジ)と豊富だ。特にながらゴールデンサンバーストは'50年代のウィンテイジモデルに見られるトーンサンバーストをパーフェクトに再現。ブルグーボディと杜きうとしたなくあじわい深いカラーリングが魅力だ。YS・イエローサンバーストはストーンからトーンサンバーストカラーにかかった オールディッシュなカラーリングを良事に再現。それぞれに魅力ある塗りつまと色あいをみせている。フィニッシュはST45から5T65までがカラリウレタンフィニッシュ、ST80以上がラッカーフィニッシュとそれぞれに あたためたかのあるすばらしい仕上がりとなっている。ライクスティーどうでも特徴的の存在感がありトーカイならではの微妙なカラーリングがはかり。'82ニューズスペックより、ネックもオールド像フィニッシュを施し、スペシャルカラーもラカラー 充実。ますますオールドワールドをいきかけるトーカイものもの!

●ボディのバックもごとおり。オールドモデルのコントロールド"ボディのカットはまだない。身体にベストフィット。

●ヘッドは2年ぞア"高精度のオールドクルソンタイプペグ"が採用されたのこだわりぶりだ。

●ホールドセパレートタイプのトレモロユニットを全モデルに採用。ものオリジナルはベックもピックアルに比べ、ヒクイ。アイオルフロスペックの取付下もニクイ。

●PUアセンブリも圧巻。新作STヴィンテイジ"を含みひかくく線、セラミックコンデンサー採用などまさに"ヴィンテイジ。

●プラスシールドプレートが"ハイスをシャットアウト。

●④ネジPtt各のエプはオールドの色調だ。見てみ下のスイッチ&スイッチリブもうパーフェクト。

●保とスイッチをいうはいったおしてもスイッチ軸はごうんのとおりブも感じおよなった市本格訓だ。

●リヤー。ケースもついにヴィンテイジハードケースが登場。左右の独創のツイードカロスにゆの構造も見てください。エイおうう。

圧倒的な内容と厳格なサウンドコンセプト、パーフェクトレプリカモデルの深遠なポリシー。

TE BREEZY SOUND SERIES

オリジナルのフィーリングをそのままに伝え、しかも楽器としての機能性をさらに向上させたTEシリーズの全貌。

●ネック/オリジナルTEトラディショナルのホワイトネックつまりメイプル1ピースネックを基本とした次の2タイプのネックが用意されている。

●'48ヴィンテイジモデル/'48年に発表されたTEトラディショナルのマテリアルそのままに忠実にレアリカしたパーフェクトネック。①ヘッドストック:エレガントなクローンンヘッドにシルバータイプのロゴマークそしてオールドクルーソンタイプのペグが"抜群のコントラストをみせ格調高く、しかも室にのよい深いヘヴィフィーリングをかもしだしているストリングガイドも'48 TEトラディショナルと全く同じ位置に立型ストリングガイドを1ケ、シンプルにきめている。ロゴの位置とあわせて他のモデルとよく比較してみてほしい。●'54オールディーモデル:ここちはローズ"指板をラミネイトしたメイプルネックで"STシリーズ'64オールディーモデル同様ヘッドの裏本とネックの裏側にブラックラインが入らない、オリジナルとまったく同じマテリアルの'なにないローズ"ネックだ。マニアイクなギタープレクトにおくる逸品のスペックだ。①ヘッドストック:シルバーに光沢トーカイのロゴマークの位置とストリングガイドの形に注目してほしい。これぞ'60年代のスイングを見事に再現したオールディー感覚あふれるクローンンヘッドだ。

●ローズウッド1ピースネック/さて、おまちかねローズウッド1ピースネックの登場だ。ここまでくれば あのローズウッドテリー。「LET IT BE」の衝撃からはたたちがないテリーフークにはまちがいない魅力だ。ローズウッド1ピースにメイプル指板を施したこのネック、もう何もいうことはない。●ボディ/ボディのカロエもまたトーカイの技術のみせどころ。左頁裏をみるコンセプト・ボリ御存がルしターン"がオリジナルを完璧にレプリカするネックジョイント部にみる繊細なまでの仕上げ。ピックアップ&コントロールサーキット部のホールはもちろん まだに神秘的。手には あの'58年にかたちはフロントピックアップから右下方に走る配線のためのホールがあり"TEシリーズはオリジナル同様にボディ内部から露出部の極小穴あけすらない徹底的なボディ振動を考慮したディテイルのイたけとなっている。そしてさらにジャック部とリフト部の深さにまで細部なる仕上げ。これぞジャックプレートの浮きぜ"ほとリフトの不良を解消。ここまで完璧にレプリカしたボディを決して他でうまれないトーカイTEシリーズ"ならばのスペシャルスペック。ボディ形状は'48TEトラディショナルに忠実の重量感。本物をアルダーといたいりくぜ!!ち。●ローズウッドボディ/そしてまたローズウッドテリーのボディ登場。ローズウッドのマテリアルの特性からうまれるメイプル指とーネックはんで面得にセイドがくり抜かれたローズウッドボディがサンドイッチ材に構成されている。要するにこんなことも知らずにローズウッドテリーをながめていた人もタかったんじゃないかな?

●ピックアップ/「ザ・テリーサウンドの源」であるピックアップには2タイプ<TEヴィンテイジ><TEヴィンテイジMK II>を用意した。●TEヴィンテイジ/ブライトでシャープなサウンドはまさにアメリカンサウンド"してウエストコーストサウンドを象徴。鋭くのびるハイトーン、泣きのサウンドを"TEトラディショナルのフイルスマテリアルそのままに再現。ロイ・ブキャナンセロピー・バートレンそしてアレン・ロス、アルバート・リーに捧げたいブリージーな"オールドテリーサウンドだ。ロック、ブルース、ソウル、カントリーと幅広いニーズに見事に応えるハイレスポンスピックアップ。シングルコイルを5で表現する傑作ピックアップだ。●TEヴィンテイジMK II/ストレイトカブリクセルしくそれでいてパワフル&エキサイティングな絶妙のサウンドクオリティを誇るTEホット。オリジナルのコイルマテリアルを徹底分析、研究開発した成果がここに結集され、ギタリストの要望を100%表現するハイクオリティピックアップを完成させた。パーフェクトなハードウエアのベストマッチングが生まれるサウンドはまさに驚異。世界を代表するテリーサウンド。●コントロールサーキット/トーカイTEシリーズを語らずして言及はないかな?他のコピーモデルとは全然違うぜ!ボリュームのスムーズなレスポンス、音を小さくしてもこもらずシャキッとしたサウンドなど表現の幅と奥行が"深いクラ彩だとそのかず、すなわち お客さんに聞かせると思わずはじめにボリュームのカーブ特性、TEシリーズはすべてA-カーブそれもT-M.Cが"さらにボリュームを下げても音がこもらないように1000 PFのコンデンサーにてネバのターン効果を出している。通常のトーンコンデンサーは0.047 MF。各ポキにコントロールサーキットはオリジナルのニュアンス2点をカットコスに表現の幅を拡大させるとともにTEシリーズのポリシーがあるというわけだ。●ブリッジ&テールピース/'82ニュースペックよりブリッジ&テールピースも パーフェクトレプリカのTE50トーカイの誇るオリジナル6WAYを踏襲し他のモデルには全て歴史に合わせた パーフェクトレプリカのブリッジ&テールピースで採用がしている。TE80には採用したブラスブリッジ&ボックスタイプのテールピースはまたにアイオルスペックとともいえる貴重な仕上げりとは裏、スパイラルブリッジのものとあわせて㊀ネジの強靭調整ネジ、左頁見ピック調整ネジ等まさにパーフェクト、新しい魅力を加えています。●ピックガード/ピックガードもTE 80 N とBLにはベークライト7Pセッカガードをついに採用。オリジナルのマテリアルと同じ風格と味わいを持っている。その他セルロイド3プライ等、全5タイプネック構成、年代別に使りつけられている。●カラー/ブロンドのカラーに特に注目してほしい。色いえの深いトーカイゴールド仕上で。TE200のローズ"ウッドモデルをかえてますます充実のラインアップだ。●スペシャルスペックオールドパーツ/パーツはすべてオールドタイプ。ストラップボタン、コントロールプレート、ピックガード、ストリングガイド……すべてその他のコピーモデルとは一線させない オリジナルのマテリアルどおりのスペシャルスペックパーツとは時にジャック穴は'81ニュースペックより'オリジナルと全く同じ取り付け法、マテリアルを採用。ボディからパーツそしてサウンドに至るまでオールドにパーフェクトレプリカした TEシリーズ。またいよりオールドギターユニアの間はお好シリーズ"が生まれた。

SS SILVER STAR SERIES

ディテイルのパーフェクトなパフォーマンス、もっともアグレッシヴなロックサウンドマシーンといわれる超絶の内容。

●ネック/モダーンモデルを象徴するせせだまで重量感のあるクローンンヘッドシルバースターのネーミング"とシリアルナンバーが印象的だ。ストレイトでシャープなモデルサウンドをクリエイトするにふさわしいナイスピケーを誇っている。ネックイエ様は4タイプ、モダーンモデルの極めつけSS60を除く全機種にはメイプル1ピース&ローズ指板ラミネイトしたメイプルネックの2タイプイエ様。そして'82 ~ SS60はモダーンモデルをついにパーフェクトレプリカ"された、メイプルに指板ラミネイト&ローズ"指板ラミネイトのニュースペック2タイプで揃っている。アジャストロッドもヘッドストック側でなくネックエンド側にあり ネックの固定力が3も4点 止めだ。シンプルがこよなく愛したメイプル貼り指板ネックのフィーリング味わってほしい。写真どもわかるとおりプロタイプも全て4点止め。ボルトクルーソンタイプのペグと、このニューフェイスにエヤモンモデルフルクも負っけずオだ。SS60を除く全機種は先ほども説明したとおり、メイプルトップ1ピース&ローズ"指板ネックの2タイプイエ様。ロケットアジャスタブルも精かだ。

●ボディ/ボディは強度性を重視した結果、あえてオールドタイプのボディを採用。正確無比な誤差、コンピューター制御のNCルーターによってばりだされるオールドジェイクルでエストカットボディは圧巻だ。ピックアップホールカロエ、トレモロアロック加工カロエ等、すべてにパーフェクトなことは なさらいうまでもない。さらにクラフトマンが"精細な"技術をフル2(ダタッチャブルネックの強固)で施したネックジョイント部も見事に再現されてしまった。またネック取りつけ方式も3点 止め4点 止め(SS60のみ)の2タイプうち、止めかたは ネックとの角度を自由に調整できるアジャストメント機構をも加備しさらに演奏性をよりあげると共に、モダンモデルのスーパーバランスドボディのボディとなおまとうこと面積はいう。●ピックアップ/コンンホラリーミュージックを追求するSSシリーズよりアタットなよりパワフルなサウンドを追求したプロフェッショナルタイプがばりだし。①ディマジオ・アットモデル(SS80,85N)②ST-ヴィンテイジMK II(SS60)③SSスペシャル(SS48,50)④SSホット(SS40,38)の4種類で構成。いずれもバランスのよりパワーサタイルサウンドを提供。ワイドレンジのエフェクターのカリ"が最も良いシングルコイルサウンドのダイナミさ100%表現しうる強力なピックアップをちばりだした。●ピックガードパネル&ピックアップカバー/ハイエイジーを融合したピックアップをむもかかバーとかねるマウントするピックガードパネルは それぞれ2タイプ揃の機調はモダンモデル'65~'70年までのスペックを再現したホワイト3プライ11点 止めのピックガードパネル及ホワイトピックアップカバー。ニューモデル SS60とSS50、SS40のヨモデルに採用しいるのそして古の機調はニューロックエイジの人気のあり、ブラック フェイスのピックガード。同じブラックでは11点 止めモ、ピックアップカバーもブラックと格調な面がおかはまれるサウンドは強力無比な、個性を極めたSSシリーズのピックガードパネル、SS80、SS68、SS38に採用。

●ペグ/モダーンクロージャンヘッドにピックフィットのペグは2タイプ。SS38・40にはブッシングタイプのオリジナルスタイルペグ。SS48以上にはロマティックにオリジナルタイプのツマミのついた画期的なペグをそれぞれにマッチングしている。そして古の機調はニューロックエイジの人気のあり、ブラック フェイスのピックガード。同じブラックでは11点 止めモ、ピックアップカバーもブラックと格調な面がおかはまれるサウンドは強力無比な、個性を極めたSSシリーズのピックガードパネル、SS80、SS68、SS38に採用。

●トレモロユニット/ST シリーズ"同様、自然のロックンに学んでダブレッジなサウンドを展開しリード(速めりさモアミシングサウンドは、左頁裏端にて音楽が多いせ"ず、ともすれば"全のもちぐされとなってしまう。そんが"あり"ますんけちがないとおりめにいたギブブレークもし古い経験をもつギターマニアに捧げる トーカイのトレモロユニット。このピブラートシステムは極めつきの深いがりなくゴキゲンなプレイが楽しめるスペシャルスペックだ。理由はトレモロユニットに対するトータル精度が優れていること、またフルカロエ、マシン等、トレモロを構成する関連部分に独心の注意が はらわれセットされているがただ。本家のヴン・ヘイレンモ ヘヴィメタルキッズにすすめたい1本だ。